



美術教育支援協会

発行・編集/事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話：03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158
e-mail: info@npoaes.org HP: npoaes.org

現在会員数:96名(協賛4社)含



◆ 理事長あいさつ

谷岡 清

会員の皆様、いつも NPO 美術教育支援協会を温かくご支援いただき、ありがとうございます。お蔭さまで、当協会も来年で設立 11 周年を迎えます。これまでも、美術講演、美術館見学バスツアー、ピアノと美術のコラボなど、美術に関するさまざまな事業を展開してきましたが、今年は、全く新しい試みに取り組みたいと考えています。それは落語と美術のコラボレーションです。

落語のお好きな方はご存じと思いますが、古典落語によく美術品が登場します。江戸時代中ごろに始まる落語には、店子と大家、お金持ちと貧乏人など、登場人物のギャップが笑いの種となる場合が多いのですが、その狭間を右往左往して、聴き手をハラハラ、ドキドキさせるのが高価な美術品です。その代表的な例が「井戸の茶碗」で、屑屋さんが処分を任されたボロ茶碗が、細川の殿様の目に止まり、大変な展開に…という人情噺です。

2015 年、私は飛鳥 II の世界一周クルーズでの講演を依頼されましたが、その折、一緒に乗船し、味のある古典落語を語ったのが真打の落語家古今亭志ん彌師匠です。お互いに公演を聴き合う内に意気投合、「落語と美術の出会い」のコラボが実現の運びとなりました。

前半、私が井戸茶碗の歴史背景や価値について解説、後半に志ん彌師匠が「井戸の茶碗」を一席、という段取りです。落語のおもしろさや味わい深さがさらに増せば、と願っています。なお、この会報にも詳しいご案内が載っていますので、ぜひお誘い合わせの上、多くの方々にご参加いただければ幸いです。

◆ 2017 年夏の美術講演企画『美術フォーラム』は、浮世絵の美と悦楽の世界へ！

◆美術フォーラムは神田神保町の「和亭なにわ」さまの会場協力のもとに開催いたします

印象派に影響を与え今や世界ブランドの浮世絵をじっくり味わい尽くします

第 1 回平成 29 年 6 月 9 日 (金) 15 時～17 時

「浮世絵の誕生---江戸庶民のエネルギーの爆発」

第 2 回平成 29 年 6 月 16 日 (金) 15 時～17 時

「美人画の悦楽---曲線でなぞる女の艶くらべ」

第 3 回平成 29 年 6 月 23 日 (金) 15 時～17 時

「役者絵と風景画---対象を切り取る決断の美学」

第 4 回平成 29 年 6 月 28 日 (水) 15 時～17 時

「世界ブランドになった北斎---多彩な北斎芸術を極める」

■ 6 月 28 日 (水) 11 時 両国「葛飾北斎美術館」に集合 理事長・谷岡 清と行く美術館ツアー先着 25 名

入館料・昼食・交通費各自負担。館内の状況が許せば解説いたします。12 時 40 分頃まで美術館見学。

その後移動！昼食（なにわでも可）後、「和亭なにわ」にてプロジェクターを用いて北斎の講演を行います。

参照：当 NPO ホームページ (npoaes.org) 当日問合せなど：090-8805-2184 (みのしま携帯)

会場 和亭なにわ (同封チラシ参照)

参加費：各回 2000 円(当日受付払い)

千代田区神田神保町 1-34

☎& FAX：03-3295-9358

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」A5 出口歩 5 分

◆ 2017 秋の特別土曜フォーラム企画『落語と美術の出会い』（プロジェクター解説と落語）

落語と美術の意外な相性「井戸の茶碗」を楽しむ----- 解説 谷岡 清

古典落語の名作「井戸の茶碗」。講談「細川茶碗屋敷の由来」を源とする人情噺で、登場人物は、頑固な善人ばかり。この噺の中で重要な役割を果たすのが井戸茶碗です。

15-16 世紀に朝鮮半島で焼かれた庶民のメシ茶碗が、なぜ日本で大名も狂喜する茶道の名器となったのか？そのナゾと由来を谷岡清がスライドを用いて解説。

その後に真打登場！古今亭志ん彌が名調子で「井戸の茶碗」を一席。

古典落語の名作を多角的に楽しんでいただきます。杉並区の後援もいただきました。

申込書：ホームページ参照ダウンロードできます。(URL: npoaes.org)



古今亭志ん彌師匠

平成 29 年 9 月 9 日 (土) 13 時 30 分開場 14 時開演 (tel:03-3220-0401)

● 杉並公会堂小ホール(杉並区上荻 2-23-15 JR・外口荻窪駅北口青梅街道を環 8 方向に歩 7 分)

● 入場料：一般 2800 円/会員紹介・既参加者 2500 円/NPO 会員 2200 円 (いずれも当日可です)

お申込み：NPO 美術教育支援協会事務局 tel:03-3398-9155 fax:03-3398-9158

◆ 2017 秋の土曜フォーラム企画 『世界の美術館の旅Ⅸ』 (プロジェクター投影と解説)

※会員の方々、今までご出席の方々には日程が決まり次第、案内書をお送りします。また、ホームページにアップします

2017 年の「土曜フォーラム・世界の美術館 Ⅸ」も内容充実 乞うご期待！ 講師＝谷岡 清

昨年の「土曜フォーラム」は、世界の美術館の第 8 弾で、多くの方々にご参加いただき、好評のうちに終了することが出来ました。今年のテーマを決めるため皆様のアンケートのご意見を拝見したところ、世界の美術館シリーズの継続を希望される方が多く、今年も選りすぐった美術館をご紹介しますことにしました。内容の充実した美術館ばかりです。ぜひお誘い合わせの上至宝の数々をお楽しみください。

●予定期日：講演会場予約の関係で 2017 年 8 月ごろに決定します。(10～11 月で 4 回の予定)

◆第 1 回 『オルセー美術館』 フランス・パリ 14:00～17:00

日本でも人気の高い印象派をはじめとする近代フランスの名画の宝庫。アングル「泉」、ミレー「晩鐘」、クールベの大作「画家のアトリエ」、マネの問題作「草上の昼食」「オランピア」等の話題作や、印象派のモネ、ルノワール、ゴッホ等の名画に最新画像で迫る。



◆第 2 回 『アクロポリス美術館』 ギリシャ・アテネ 14:00～17:00

世界最高の歴史的建造物パルテノン神殿以前にも、アクロポリスの丘には多くの神殿があった。発掘によりアルカイック期の清純な少女像などが発見され、世界は驚愕。それらの彫刻やパルテノン神殿を飾っていた多数の貴重な浮彫刻が当時のままに展示されている。



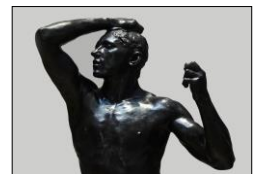
◆第 3 回 『ボストン美術館』 アメリカ・ボストン 14:00～17:00

岡倉天心等の貢献もあり、日本美術を所蔵する海外の美術館の中で最も質が高く、充実している美術館。日本にあれば国宝級の作品もあり、浮世絵の傑作もそろっている。他にヨーロッパの古代美術や名画も多く、モネの「ラ・ジャポネーズ」は日本でも有名な作品。



◆第 4 回 『国立西洋美術館』 日本・東京 14:00～17:00

フランスの建築家ル・コルビジエの設計で、最近、世界遺産に登録され話題になった。戦前、川崎造船の松形幸次郎がヨーロッパで集めた膨大なコレクションの一部がフランスから返還され、1959 年に設立。印象派をはじめ、ロダンの彫刻など、内容豊富で見どころが多い。



◆(参加費)NPO 会員(いずれも 4 回分):2,500 円(@700) / 以前参加・会員紹介 3,000 円(@800) / 一般:3,500 円(@900) (@)は 1 回分 ◆会場:昨年と同じ荻窪地区区民センターの予定

◆ 昨年 2016 年の活動報告 (日帰りバスツアー)(夏美術フォーラム)(秋の土曜フォーラム)

◆箱根「岡田美術館」「ガラスの森美術館」日帰りバスツアー7/6(水)のご報告

2016 年 7 月 6 日(水)朝 参加者 13 名とスタッフ 4 名の 17 名が新宿西口に集合。前年に企画された箱根の小涌谷『岡田美術館』と仙石原『ガラスの森美術館』のツアーが箱根大涌谷の小噴火などがあって中止になりました。そこで、その企画を復帰実施いたしました。バスの中で谷岡理事長のレクチャーを受けながら、小涌谷の岡田美術館へ。入口で俵屋宗達の『風神雷神』をモチーフにした大壁画に迎えられ、最初小林館長のご説明を聞きました。撮影禁止なのでスマホ・カメラは入口で預けます。有名な浮世絵や日本画、焼き物を鑑賞し、壮大な庭園を散歩。次のガラスの森美術館へ。ここで昼食後、ガレをはじめとするベネチアングラスの膨大なコレクションを鑑賞。すばらしい庭園を散歩した後、帰途につきました。



ガラスの森美術館にて

◆2016 夏の美術フォーラム 1 『世界の美術館を楽しむ』の報告

新しい美術講座を開催しました。世界の美術館や博物館を訪ね名品の美の秘密に迫り、好評裡に終了しました。

第 1 回 平成 28 年 7 月 21 日(木)3 時～5 時 「ルーヴル美術館」

第 2 回 平成 28 年 7 月 28 日(木)3 時～5 時 「ウフィツィ美術館」

第 3 回 平成 28 年 8 月 3 日(木)3 時～5 時 「正倉院とシルクロード」

神田神保町の「和亭なにわ」のお店オープン前に会場をお借りしての美術講演でした。

◆参加費 各回 2000 円 延べ参加人数:68 名(3 日間)

◆2016 秋の土曜フォーラムⅧ の報告

恒例の秋の土曜フォーラムも8回目を迎え、益々人気になっております。今回も多くアンケートの集計結果から下記の4講演を開催しました。参加人数は延べ155名でした。

- 第1回 平成28年10月1日(土)『アムステルダム美術館』
 第2回 平成28年10月29日(土)『イラクリオン美術館』
 第3回 平成28年11月5日(土)『ゴッホ美術館』
 第4回 平成28年11月19日(土)『マルモッタン(モネ)美術館』
 於：杉並区・荻窪地域区民センター(東京都杉並区荻窪2-24-20)
 各日共:14時~16時半 講師・谷岡 清



秋の土曜フォーラム講演風景

◆ 2016 年秋の土曜フォーラムに参加して

☆ 土曜フォーラムと私

北林 信子

私の長年の趣味は美術館巡り、何かと忙しく仕事に追われていた頃、時間をやりくりしながら美術館を訪れ自分の時間を取り戻しておりました。特によく通ったのは丸の内出光美術館、交通の便もよく、あまり大きくもなく、静かに鑑賞することができるからです。一巡りした後、休憩所で皇居のお堀の見える広い窓際に腰掛けてお茶をいただきほっと一息、日常の慌たしさから逃れてゆっくりできる癒しの時間でした。国内外の様々な美術館に出かけたのですが、より理解を深めるには歴史、ギリシャ神話、聖書、焼物について等々、勉強したいという思いで、あちこちのカルチャーセンターに足を運んでおりました。

そんな折、出会ったのが谷岡先生の2008年9月杉並区産業商工会館で開催された土曜フォーラム「日本美術史に見る東西文化交流のおもしろさ」という講座でした。私の長年求めていた内容にぴったり、シルクロードと正倉院、はるか昔からの東西の往来にロマンを感じ、人類が文明と共に歩んできた偉業に感銘を受けました。以来、土曜フォーラムを追い続けて今年で9年目、古今東西、あらゆるジャンルにわたりテーマは広く深く、その後続く世界美術館巡りシリーズと興味は増すばかり、美しい映像と先生の名解説にいつも感動を覚えるのです。

海外旅行の折など美術館に立ち寄った時、見覚えのある本物の絵や彫刻に出会える喜びと楽しみもひとしおです。先生の臨場感あふれるお話から、美術館のたたずまいと雰囲気を想像しているからこそ、また、あの絵のある美術館を訪れてみたいと夢が膨らむのです。最近では壮絶な生涯を送ったゴッホとゴーギャンの人生、二人の織りなすエピソードが大変面白く興味をそそられました。

日帰りバスツアーにも過去3回参加しました。特に、2013年7月山梨の「平山郁夫シルクロード美術館」が大変印象に残っています。どの回も先生の素晴らしい説明はもとより、内容盛りだくさんの至れり尽くせりの企画、美しい写真満載の資料など、役員の方々のご苦勞の賜物といつもありがたく思っております。

☆ 土曜フォーラムの魅力

橘高 武弘

「谷岡清先生はすごい！」60~70年前?に豊中市立克明小学校(森友学園ではありません)で同じクラスだった蓑島紘一君の推奨言です。で、7年間ご講演を拝聴しています。面白い!! 私は以前、2~3つの美術館で説明を聞いたのが気に入りました。たゞ見るだけじゃなく、その時の社会の背景や、画家が思ったであろう心情などを教えてもらいながら鑑賞するのが素人の私には嬉しいからです。土曜フォーラムでは、それは当然の享受として、その作品に近い or 関係する他の作品(浮世絵との比較までも)が映写されます。時代や国を超えての比較は新たな発見です。

私たちの毎年のアンケートも参考にしながら土曜フォーラムとして巡る美術館・博物館を決めていただきます。時々谷岡先生みずから「20回目の訪問になった」と現地に行って、ご自身の最新の感じ方を伝えてくださいます。「真珠の耳飾りの少女」を見ながら再会を喜んだのに、残念ながら私のことはよく覚えてないようだった。それでも振り向いてはくれましたが」とか……。それを聞くと私は「よし、今度バックスに会ったら、“たまには一献やろうじゃないか”と言ってみようかな?」との気になっちゃいます。もちろん現地の最新情報も聞けます。バーミヤンの石仏と石窟が破壊された後の先生の悲しい思いの共有、破壊以前の写真と当時の思い。ルーブル美術館の今と昔のそれぞれの良さ等々。さすが谷岡先生です。

追加でぜひお伝えしたいことは先生の絶妙のウィットです。並みの教師のように同じネタを毎年使うなんてもんじゃありません。フォーラム当日の2~3日前に世間を騒がせたニュースを利用してのジョークを始め、どれも新鮮で且つ上品・ハイレベルなんです。これはまた本番お話の最中だけでなく、終了後の懇親会でもたくさん聞けます。私はたまに他所でパクッたりして、尊敬?されたりしています。私の一番のお気に入りネタは「ドライフラワー」ですが、その“オチ”は次回の土曜フォーラムの懇親会でお会いした時にでも……。

☆ 土曜フォーラム

佐藤 堅太郎

谷岡先生の土曜フォーラムに参加している人は美術マニアの方か、“あの美術館よかった、あの名画感動した”なつかしい、もう一度行って見たいと・・・私もその中の一人-----。

スポーツ系の自分が、美術ファンになったのは数十年前、フェルメール展が大阪に来日して、なんとなく鑑賞してから。「真珠の首飾りの少女」を見て、すごい。もう一度見たい！常設しているオランダの「マウリッツハイス美術館」に旅行途中に立ち寄る。絵の前に立ちすくみ「やっと再会出来てよかった」と感動する。フェルメールは全作品 37 点 11ヶ国に散らばっている。出来るだけ見ようと、アメリカ、ヨーロッパの 8 美術館を追っかける。まだ全部見れないが生涯の目標にしている。

日本には世界の有名作品が集まる。美術好きの日本では、必ず成功する幸せである。

今年、世界遺産になった上野西洋美術館はルノアール、モネを始め、松方コレクションの名画がたくさん常設されている。シルバーは無料、こんなすごい美術館が近くにあつて最高、何回も行っている。

◆ 2016 年度事業報告 2016 (H28) .4.1 ~ 2017 (H29) .3.31

‘16/4/1 新年度第 10 期スタート

4/7 第 10 期第 1 回理事会 美術フォーラム開催打ち合わせ

5/24 第 2 回理事会 美術フォーラム開催打ち合わせ

6/1 会報 (Vol.8) 発行発送

6/29 神保町なにわ会場下見会

7/6 日帰りバスツアー箱根岡田美術館とガラスの森美術館

7/21 美術フォーラム① 『ルーブル美術館』

7/28 " ② 『ウフィツィ美術館』

8/3 " ③ 『正倉院とシルクロード』

10/1 秋の土曜フォーラム①『アムステルダム美術館』

10/29 秋の土曜フォーラム②『イラクリオン美術館』

11/5 秋の土曜フォーラム③『ゴッホ美術館』

11/19 秋の土曜フォーラム④『マルモッタン(モネ)美術館』

‘17 1/24 理事会

2/22 落語とのコラボ企画打合わせ

3/15 古今亭志ん彌師匠打合わせ 上野鈴木

3/26 理事会



岡田美術館にて

◆ 事務局より会費納入のお願い

【第 10・11 期会費納入のお願い】 お蔭様で現在 97 名の会員(協賛会社含む)の方々がいらっしゃいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いします。お手数ですが 10 期の会費がまだの方 (H28.4.1~H29.3.31) と新たに 11 期の会費 (H29.4.1~H30.3.31) 各期 3,000 円を下記へお振込みいただきますようお願いいたします。

(H29.1.1 以降ご加入の会員様は有効期間を H30.3.31 としてお取り扱いいたします)

- 三菱東京 UFJ 銀行・荻窪支店: 普通 179257 トクティエイカツドウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 三井住友銀行・荻窪支店: 普通 0568070 トクティエイカツドウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 郵便振替 00140-2-318540 トクティエイカツドウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

◆ 事務局長から・今年の (2017 年度 Vol.9) 会報お届けにあたって

本年 4 月 1 日、私共 NPO 法人美術教育支援協会が、東京都の認可を受け、発足以来 11 期目を迎えました。この間、秋の「土曜・美術フォーラム」春の「美術館バスツアー」「美術とピアノのコラボレーション」「下山静香ピアノリサイタル」、昨年からは都心神保町の和亭「なにわ」を会場としての「春の美術フォーラム」。加えて本年は落語家古今亭志ん彌師匠を迎えて、美術との融合を目指した「落語と美術の出会い」を 9 月 9 日に杉並公会堂にて開催致します。

これら企画の成立も偏に会員の皆様のお力添えに依るものと改めて御礼申し上げます。

事務局一同益々会員の皆様のご期待に添うべく努力して参ります。

皆様の忌憚ないご意見、ご希望を事務局までお寄せ下さいませ。

平成 29 年 5 月 29 日

NPO 法人 美術教育支援協会
事務局長 簗島 紘一